

西条市高齢者交通安全アドバイザー 氷見校区訪問実績

- 実施期間：平成28年9月28日 ～ 平成29年3月15日
- 訪問者数：879人（625世帯） 男性367人 女性512人
- 平均年齢：79歳
- 反射材等の配布：636本

☆アンケート調査結果

①運転免許を持っていますか？

なし（以前から）	なし（返納）	自動車	バイク	小型特殊	その他
31.2%	14.2%	48.7%	5.9%	0.0%	0.0%

②外出の際は、主に何を利用しますか？

1人では外出しない	自動車	バイク	自転車	徒歩	シニアカー
7.6%	26.1%	4.6%	12.8%	20.9%	1.5%
その他（家族の車・タクシー・バス）					
26.5%					

○自動車・バイク・自転車で約4割の方が外出されています。運転が少し不安でも、免許証を返納するすることができない方が多いようです。

③外出の主な目的は何ですか？

買い物	通院	趣味・公民館等の活動	運動・散歩	仕事	その他
31.3%	32.7%	6.2%	10.5%	5.3%	14.0%

○外出される主な目的は、約6割の方が買物と通院で外出されています。他の校区でも買物、通勤で外出される方が多いです。○また、病院等へ行く際に家族の方に送迎を頼み、極力自分では運転をしない方もいるようです。

④交通事故にあったことはありますか？

ある	ない	ヒヤッとしたことはある
4.9%	91.8%	3.3%

⑤夕暮れや夜間に外出しますか？

する	しない
17.2%	82.8%

○国道11号や明るい場所が多いためか、他の地区と比較すると夜間に外出される方が多いです。

⑥転倒防止対策の実施状況（聞き取り世帯 406世帯）

対策をしている	対策をしていない
9.9%	90.1%

【氷見地区の高齢者が危険を感じる点】

- ◇ 学生が自転車でスピードを出し、交差点を確認しないで飛び出したりして危険。また、並進走行する学生が多い。
- ◇ 若い女性ドライバーは交通ルール・マナーが守れていない。

- ◇ 信号を守らない車が多い。
- ◇ 歩行者が横断歩道をないところを渡ろうとするので危険。



○家具・食器棚などの転倒防止対策（針金・突っ張りタイプ）をされている世帯は約1割で、約9割の世帯でタンスはあるが、平行にしている。寝室にタンスはあるが、ベッドで止まるなどという理由で転倒防止対策をされていないようです。

平成29年4月9日現在、西条市内での交通事故状況は、亡くなられた方は1名で、昨年比±0となっています。発生件数は91件で前年より30件減少しています。最近では、高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違えによる事故が多発しています。高齢運転者標識を付けた車の速度が遅くても、距離を詰めすぎないように運転するよう心掛けましょう。

聞き取りの結果から、高齢者の方が外出する主な目的として「買い物」と「通院」が約6割超を占めています。

- ・車を運転される方は、交差点では速度を落とし、前後左右の安全確認を行って運転しましょう。
- ・自転車利用者は、道路を横断する時や道路を右左折する時は、必ず前後と左右の安全確認をしましょう。
- ・夜間外出される歩行者は、反射材等を着用し懐中電灯を携帯するなど、ドライバーから目立つようにして事故に遭わないようにしましょう。